

INFORMATION

立ち仕事等でお疲れの足に！

働く足にやさしいインソール

Recommends

まめったい

¥2,800+税

日々の労働からの疲労軽減・つまずきの防止に、腰痛。肩こりの解消にもおすすめ。

長靴や、安全靴に入れると効果てきめん。

体幹を安定させ、姿勢を正してくれます。

一度お試しください。お勧めです。



<いしつぶつがかり>

2016/3/20 現在

お客様が、カインドへ忘れたり、落としたりして行かれた物をご案内します。お心当たりの方はご連絡下さい。

- メガネ（ワインの縁。弦の部分にステンドグラス風装飾）
- エコバック（ワイン地に黒の格子柄）
- 鍵（カウボーイの格好の犬のキーホルダー付）
- ブローチ（ゴールドとシルバーのねじったような円形）
- ご婦人用ジャケット（オークグレーのツイード素材。千趣会）
- メガネ（細い茶色の縁）
- ご婦人用傘（金茶に黒の縁。木製の柄。骨 24 本[一か所破損]）
- ご婦人用傘（薄いブルー。ブルーと茶の大きめ水玉）

4 月・5 月の営業のご案内

【2016 年 4 月】

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30



印
休みをいただきます。

【2016 年 5 月】

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

丘の街の靴屋通信

発行：(有)カインド 〒395-0041 飯田市中心通り 3-14 TEL:0265-23-9241 [ホームページ] <http://kind-iida.net/>



足の健康と靴を考える店

カインド
Amenity & Comfort

って、どんな店？

<その3>

飯田市の名物靴屋はこうして生まれました。

【前号より】

大型ショッピングセンターの時代が到来

まだまだ、「シューフィッター」は認知されてもいない時代なので、急激に店の方向転換をすることはできなかった。
少しずつ足の健康のための品ぞろえを進め、店の方向転換を始める。
そのころから、マスコミ等でも「外反母趾」等の足の障害について取り上げてもらえる機会が増えだし、徐々に、世の中も足の健康について理解をはじめ、
「シューフィッター」の認知度も高まり始める。
その頃、大型ショッピングセンターの時代が到来し、
飯田でも大型店出店の話がいくつも持ち上がるようになる。
将来的に商店街での営業に不安を感じ、出店の話を進めるも、条件が合わず出店断念。

「足の健康と靴を考える店 カインド」の誕生

1995 年 郊外にサティ(現イオン)、
アピタが相次いで出店。
1997 年には、
ジャスコ(現イオン)も出店。
これを契機に、
一層、足の健康のための靴屋
としての店づくりをするよう
大幅に方向転換する決意をする。



「足の健康と靴を考える店 カインド」の誕生！

1999 年 もっと自分を高めたいと思い、
「バachelor・オブ・シューフィッティング」(上級シューフィッター)を取得。

それと同時に、自分の知識不足や経験不足を痛感し、
さらに足の勉強をしなければならない使命感のようなものを感じる。

そして、ますます足の奥深さを知ること・・・

【次号に続く】



ドイツ・オランダツアー報告

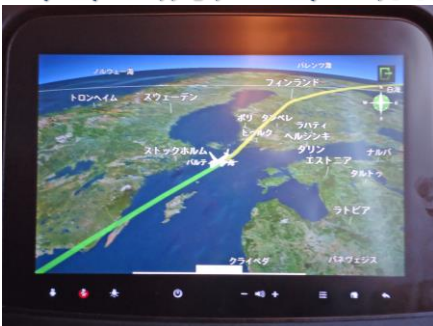


2016/2/1(月)～2/7(日)

1



「成田エクスプレス」で、成田空港へレッツゴー！！



＜2/1＞ いつかは行きたいと思っていたドイツのメーカー視察。今回、日本の代理店企画のツアーがあり、迷わず即申込み。前泊した新宿から「成田エクスプレス」で成田空港へGO！
10 数年前とは比べ物にならないほど快適な空の旅で、約 12 時間！、一路ドイツ フランクフルトへ！



フランクフルトから貸し切りバスで最初の宿泊地ヴェルツブルクへ。現地時間の午後 7:00 頃ホテル到着。夕食まで街の中を散策。さすがに本場、BIRKENSTOCK の店もありました。路面電車が走り、いかにもヨーロッパです。散策中、日本語で話しかけてきた変なドイツ人にも遭遇。持っていた、大音響のスピーカーで大好きだという日本のロックを聞かせてくれました。みんな大爆笑！！



＜2/2＞ 今回のメインのメーカー「Finn Comfort」(ヴァルティ社)の訪問です。ドイツ バイエルン州の東(チェコ共和国の国境近く)に位置する小さな町ハッスフルトにあります。



神妙な顔で、説明を聞いているところです。



素材倉庫。革はドイツ産



靴 1 足にこれだけのパーツが要ります。

ハンス ヨアヒム ヴォルター社長、自らお出迎え頂きました。

私たち参加者は、2 つのグループに分かれ、それぞれ工場内へ。

工場入口には、1 足の靴を作るためのパーツがわかりやすく展示してありました。

一つ一つの工程ごとに細かく説明をしていただきました。Made in Germany にこだわっていることで、徹底した品質管理ができるので、商品に対する信頼を得ていることがよくわかりました。

工場は太陽の光が差し込み明るく広く本当に清潔で、ごみ一つ落ちていないのには感心しました。いいものを作るには、いい環境で生産できることも重要だと思いました。

生産工程一つ一つ丁寧に作業が進められていました。大勢の方の手を通して、履き心地とクオリティにこだわった 1 足の「Finn Comfort」が出来上がります。



いよいよ、出荷です。





ドイツ・オランダツアー報告



2016/2/1(月)～2/7(日)

4



子供靴は、日本円で一五〇〇円位が中心。キャラクターやフニャフニャの靴はありません。

<2/5> [Van Keeken Schoenen] [アルファン・アーン・ダン・レイン]

ロッテルダムから1時間ほどのところにあるアルファン・アーン・ダン・レインという小さいけれどおしゃれな街にある小売店です。

小さい商店街にこの店を含めて靴屋が3店舗ありました。ほかの店は比較的廉価な商品を扱っている店で、完全に差別化していました。ディスプレイもおしゃれで、広い店内には、椅子も随所に配してあり、ゆったりと買い物ができる雰囲気のお店です。

子供靴コーナーには、店のど真ん中に船を模した遊具があり、子供が退屈しない工夫もありました。子供靴の価格は、日本円で、およそ15,000円ほど。日本でよく見かけるようなフニャフニャのスリッポンタイプの靴やキャラクターのついたような靴は一切ありません。

店の奥には、修理コーナーもあり、コーヒーの接待もあります。レジカウンターにはパソコンがあり、好きなデザインの靴の取り寄せもしてもらえます。進んでる～～～！



<2/5> [Wittepoel] [ロッテルダム]

一言で言って度肝を抜かれた小売店です。外観や、店内はごく普通の店ですが、店の奥にある施設が半端じゃありません。病院と連携していて、日本でいうところの処方箋を持った患者さんが来店されます。足を診断したり、足に合った靴を選ぶ為の部屋がいくつもあり、症状によって、既製品を手直しする場合もあれば、まったく一から靴を作る場合もあります。

この店は、ロッテルダム周辺に6店舗あり、シューマイスターが40人もいるそうです。まさに、日本でいえば、義肢装具士さんと靴屋が合体したような店で、靴で困ったら何でも来いって感じの店でした。残念ながら、日本ではこのような店は皆無ですが、社会の仕組みの違いや法律の問題もあるので、一長一短で解決する話ではありません。さすが健康靴先進地です。

日本では、さしあたって靴屋の知識とスキルアップをしていく必要があることを痛感しました。<珍しく「まじめなコメント」ですね>

【次号「ドイツ・オランダ観光編」に続く】

